



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和6年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和6年2月2日

事業名	ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン男性予防接種事業		
予算額	令和6年度予算額 (前年度予算額)	13,315千円 0千円	(新規)
取材先	健康部保健予防課長 高橋 (電話 03-5273-3849)		

予防接種の推進



感染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するため、予防接種事業を推進します

ヒトパピローマウイルス (HPV)ワクチン男性予防接種事業の実施について

令和6年度からHPVワクチンの男性への予防接種の補助事業を開始します。前駆病変を含む肛門癌及び尖圭コンジローマの予防、男性へ予防接種を実施することで、女性のHPV対策に寄与するため、定期予防接種に位置付けられるまでの間、区の任意予防接種事業と位置づけ、全額公費負担を行います。

HPVとは

HPVは性行為等により生じた皮膚や粘膜の微小な傷から侵入し、感染します。HPVはごくありふれた一般的なウイルスで、性交渉を経験する年頃になれば男女を問わず、多くの方がHPVに感染します。

HPV感染の一部は持続感染となり、良性から悪性まで様々な疾患を引き起こします。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がん等のがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生にHPVが関わっています。

HPVワクチンと男性の接種について

ガーダシル® (4価HPVワクチン) を接種することで、前駆病変を含む肛門癌及び尖圭コンジローマを予防する効果が認められています。また、男性がワクチンを接種することで、自身がHPVに感染するリスクを防ぐことができます。

免疫を持つ人の割合が増えると、感染症が流行しにくくなり、免疫を持たない人々を含め、社会全体が感染症から守られることとなります (集団免疫効果)。

女性のHPV定期接種・キャッチアップ接種について

- 令和4年4月から接種の勧奨を再開し、HPVワクチンの定期接種を実施しています。一方で、接種勧奨の再開後の接種率は低迷。
令和4年度接種率 定期接種対象者 約12% キャッチアップ接種対象者 約5%
- キャッチアップ接種は令和7年3月末で終了。
- 男性へHPVワクチンの補助を行うことで、女性のHPV対策に寄与し、男女ともにHPVに感染の機会を減らすことができます。

事業概要について

事業開始

令和6年4月1日

接種費用・接種回数

無料・接種3回



対象者

新宿区に住民登録があり、令和6年度に小学6年生相当～高校1年生相当年齢を迎える男性 約5,000人

使用ワクチン

ガーダシル® (4価HPVワクチン)

周知方法

- 広報新宿、区ホームページ
- 受託医療機関へ周知の協力依頼

事業の主な流れ



定期接種化の状況について

現在、日本では、男性へのHPVワクチン定期接種の実施が議論されています。一方、海外では、アメリカやオーストラリア等の39か国 (2023年2月時点) が、男性も国家HPVワクチンプログラム (法定接種：定期接種) の対象に含めて実施しています。